

令和 4 年度 職員提案（デジタル関係）について

令和 5 年 3 月 2 7 日
DX 戦略本部事務局

デジタル技術を活用した業務改善に関する庁内職員からの主な提案内容等は次のとおり。（募集期間：令和 4 年 7 月～1 2 月）

No	提案内容	対応（回答）	関係課
1	<p>公印使用及び発送取扱に関する電子化</p> <p>【現状と課題】 文書管理システムの導入により、文書の決裁を電子化しているが、補助金の交付決定通知など公印使用が必要な場合や広報広聴課が集約して文書を発送する場合については、当課が紙ベースで承認等を行っている。</p> <p>【改善方法】 上記手続きを完全に電子化する。</p>	<p>文書管理システムで公印使用の承認や発送取扱の確認を行うためには、当該システムの改修が必要となる。また、公印使用承認については、本庁のみならず、地域振興局の知事印なども含めて、全庁的に検討する必要がある。システム改修に要する費用と導入の効果を精査した上で、その必要性を検討していく。【検討中】</p>	広報広聴課
2	<p>一人 1 台パソコン（行政情報 NW）での Google サービスの利用</p> <p>【現状と課題】 学校現場と教育庁で異なるネットワークを運用しているため、学校現場で作成した資料や写真、動画などを教育庁内で共有することができない。共有するためには、「Google Classroom」や「Google Drive」などのサービスが必要となるが、一人 1 台パソコンに係るアクセス制限等により利用できない。</p> <p>【改善方法】 一人 1 台パソコンで、Google 等の外部サービスを利用できるようにする。</p>	<p>外部サービスであるオンラインストレージなどの利用は、これまで県情報セキュリティポリシーで禁止されていたが、令和 4 年度に利用を可能とする改正を行った。現在、庁内のネットワークの混雑を避けるため、アクセス制限をしているところであり、今後、全体の状況を見ながら、制限の解除を進めていく。【一部実現可能】</p>	デジタル政策推進課
3	<p>Web 会議のオリジナル背景の活用</p> <p>【現状と課題】 Web 会議時、参加者の背景が室内の雑然としたものや、単色の壁などであり、秋田県としての情報発信の機会を逸している。</p> <p>【改善方法】 Web 会議で使用する各 PC において、秋田犬やサキホコレなど秋田をアピールする電子背景を県職員が作成し、利用できるようにする。</p>	<p>電子背景の素材は、全庁共有サーバ内の「んだっち」の画像や「アキタファン」内の観光写真を提供しているところであり、積極的に活用していただきたい。【実現可能】</p>	<p>広報広聴課 観光振興課 デジタル政策推進課</p>

No	提案内容	対応（回答）	関係課
4	<p>デスクネット（グループウェア）の活用</p> <p>【現状と課題】業務のスケジュール管理方法が職員により異なり、デスクネットのスケジューラにより全庁的な共有ができていない。また、会計年度任用職員には、デスクネットのアカウントが付与されていないため、課員と密接に業務に取り組む場合にデスクネットのスケジューラ等が利用できない。</p> <p>【改善方法】庁内のデスクネット活用に向けた啓発を行い、スケジュール管理の方法を統一する。また、会計年度任用職員にもデスクネットのアカウントを付与する。</p>	<p>職員それぞれが独自の方法でスケジュール管理することは非効率であり、庁内のグループウェアであるデスクネットを活用することを様々な場面を通じて、周知していく。また、デスクネットの利用が必要な会計年度任用職員については、今後、個別に対応していく。【一部実現可能】</p>	デジタル政策推進課
5	<p>Web会議スペースの設置</p> <p>【現状と課題】少人数でWeb会議を行う場合、課内では音や会話が気になるなど、実施場所の確保に苦慮することがある。</p> <p>【改善方法】防音設備等を備えたWeb会議専用の会議室を設置する。</p>	<p>各会議室の使用頻度は高いため、WEB会議専用会議室に転用することは困難であるが、WEB会議用スペースの要望が多いことから、庁内の空きスペースや整備費用などについて、調査・検討していきたい。【検討中】</p>	財産活用課

※全ての提案内容等については、全庁共有サーバに掲載するとともに、引き続き関係課において対応を検討する。